

# お茶の水地理

第57号 2018年

## 論文

大都市都心地域における児童の放課後生活とその規定要因 —東京都中央区湾岸地区を事例に—	平野 悠	1
ベトナム難民の定住過程と多文化共生の課題 —群馬県伊勢崎市・前橋市でのフィールドワークから—	熊谷圭知・新井佑理	10
1892年遠山郷秋葉街道を行く人々 —「明治式拾五年 宿泊人名簿」を読む—	磯前睦子	20
アニメ聖地巡礼を通じた旅行者の地域愛着 —岩手県九戸郡軽米町を事例として—	本田真裕子	30
植民地建築としての中国・大連駅に見る戦後大連人のアイデンティティの形成	鄭 芸	40
<b>資料</b>		
地理学のアウトリーチの手段としてのご当地グルメ絵葉書の効果	長谷川直子	49
<b>自然地理学奨学基金報告書</b>		
訪日中国人が語る日本でのゴミ分別に関する意識調査 —杭州市住民への聞き取り調査から—	LI Wenqing	55
<b>巡検報告書</b>		
静岡県裾野市の地域調査		59
<b>修士論文要旨</b>		122
<b>卒業論文要旨</b>		127
<b>お茶の水地理学会講演要旨</b>		
日本におけるサモア人妻たちの子育て	倉光ミナ子	133
信州遠山郷—秘境の昨日今日明日—	磯前睦子	137
<b>お茶の水地理学会活動報告</b>		141
<b>地理学教室便り</b>		142

お茶の水地理学会